

山下博徳助役 就任のご挨拶



この度、奥出雲町議会の選任
同意を得て、六月一日に初代の
奥出雲町助役に就任いたしました。

豊かな自然と伝統文化に恵ま
れた奥出雲の地に赴任できたこ
とを光榮に思っています。

この地域には、たたらやそ
ろばん、木工芸品といった地域資
源を活かした地場産業がありま
すし、奥出雲のブランド米や和
牛は今や全国に誇りうる特産品
として高い評価を得ています。

奥出雲町は、農林業を基幹産
業としながらも、企業誘致も積
極的に進めておられ、躍動感あ
ふれる町勢は、行政、議会、関係
団体、そして町民の皆様のたゆ
みないご努力の結実であります。

奥出雲町は、去る三月三十一
日に旧仁多町と旧横田町が合併
して誕生しました。

平成の大合併と呼ばれる地方
自治の大きな変革期は、まさに
激動する現代社会が大きな競争
社会に入ったことを象徴してい

ます。

国・地方を通じた財政悪化が
続く中で、地方分権の推進と相ま
つて、これからは自己決定、自己責
任の原則に基づく町政運営が求
められてきます。

さらに、町政の情報公開や透
明性の確保は、今後とも積極的
に推進していかねければなりま
せん。

県内の自治体においては、財
政危機に加え、少子化・高齢化の
進展、医療・福祉サービスの確保、
生活道路や下水道の整備、定住
の促進など解決すべき課題が山
積していることも直視しなけれ
ばならない現実であります。

私は、町長を補佐し、旧両町の
融和と一体化を着実に進めなが
ら、行政課題の迅速な解決と「新
生」奥出雲町の発展と飛躍のため、
微力ではありますが全力を傾注
する所存であります。

関係各位のご支援・ご協力を
心よりお願い申し上げます。

和泉一郎収入役 就任のご挨拶



過日、新生奥出雲町議会にお
きまして収入役就任のご承認を
頂き身の引き締まる思いでござ
います。

厳しい環境下、行政経験皆無
の若輩にこのような大役が務ま
りますかどうか分かりませんが、
関係各位のご支援、ご助力のも
と四十有余年の民間会社での経
験を活かし何とか遂行していき
たいと決意したところでござい
ます。

ご高承のとおり我が国の大多
数の自治体は、人口減少と少子
高齢化の進展、更には慢性的経
済活動の低迷という難問に直面
しています。

奥出雲町も例外ではありません
。

これら諸問題に対し如何なる
備えをしてゆくのか、そのため
には限りある財源をどのように
有効活用するのか、まだまだど
こかに無駄はないだろうか等々、
町民の皆様も行政に携わる私ど
もも危機意識をもって真剣に考

え、行動に移さざるを得ない瀬
戸際に立たされていると言えま
しょう。

収入役としての職責は決定さ
れた諸施策がスムーズに実行
できますように町の資金繰り
を考えることは勿論、今後の
ため財務諸表を分析検討し、
奥出雲町が新町建設計画の冒
頭にあります「心豊かで潤い
と活力のある町」となってい
くよう努力することが肝要か
と承知しております。

どうかよろしくご指導、ご鞭
撻を賜りますようお願い申し上
げ、ご挨拶とさせていただきます。